

防災スピーカーを使った「情報」で災害に備える

自然災害などの被害を軽減するには、何よりも迅速な情報収集が必要です。

災害情報をより早く、確実に知ることができるよう、市内各地に設置している防災スピーカー（同報系屋外放送設備）についての理解を深めて、日頃から防災意識を高め、災害に備えましょう。

☎ 危機管理課 30-6150 FAX 23-1777



後三条会館に配置している
防災スピーカー

防災スピーカーとは？

災害時に、国からの緊急情報や市からの避難指示、避難場所の開設などの情報を、市が放送するためのスピーカーです。

エフエムひこねコミュニティ放送のラジオ放送の電波（78.2メガヘルツ）を利用して放送しています。

令和5年5月時点で、市内74か所に設置しており、設置場所は彦根市ホームページ（HP 番号12205）で確認できます。

放送内容は「災害の発生やその恐れの情報」「避難に関する情報」「その他の市民生活に関する情報」です（詳しくは3ページ）。



市役所（本庁舎）に配置している
防災スピーカー

防災スピーカーに対するイメージ（一例）

うるさい！

聞こえにくい…

いつ鳴るの？

▶▶▶次ページ以降を読むと、防災スピーカーの大切さが分かります！

市の担当者が紹介する 防災スピーカー

私たちが紹介します //

// まずは放送内容から //

防災スピーカーの放送内容

緊急放送

避難情報を発令する際や、避難場所を開設する際など、災害時に重要な情報を放送します。

弾道ミサイル接近などの国民保護情報や緊急地震速報などについても、放送します。

試験放送 (8:30～17:15)

緊急地震速報やJアラート（全国瞬時警報システム）の訓練に併せて試験放送を行います。実施日は、事前に彦根市ホームページなどでお知らせします。

点検時にも放送が流れることがあります。

平常時放送 (8:00～19:00)

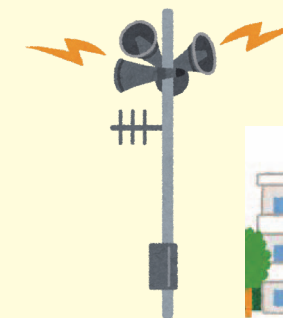
市の行政情報や学校、公民館および自治会などからの連絡事項など、要請があった情報を放送します。

詳しくは、彦根市ホームページ（HP 番号12205、「屋外放送設備の一般放送利用について」）に記載しています。

防災スピーカーによる情報伝達の仕組み



① 放送内容の決定・読み上げ



② 防災スピーカーから一斉に放送



③ 放送内容をよく聞いて、速やかに避難行動を開始する

防災スピーカーは
災害時にとても
大切な役割を
果たしているんだね

